

# ふるさと交流だより

## 農村ボランティア募集説明会

農村ボラ  
ンティア  
会員会報

寒さもまだ厳しい2月7日と14日、ふるさとむらから新しいボランティアさんを募集するため、姫路と神戸の会場に、延べ14地区の集落が集まり、参加者に向け熱心なPRが行われました。両会場とも登録地区を探しておられる多くのボランティア会員や、農村ボランティアに興味のある一般参加者で熱気にあふれました。



### 姫路会場（姫路市市民会館）

神河町中村地区、神河町新野地区、養父市堀畑地区、養父市高柳下地区、宍粟市中坪地区、たつの市原地区、佐用町西新宿地区がそれぞれの地区での取り組みや、年間の作業予定などについて発表し、その後、個別の相談会を実施しました。



### 神戸会場（神戸市産業振興センター）

篠山市辻地区、丹波市東芦田地区、丹波市葛野地区、篠山市今田地区、篠山市西紀南地区、養父市堀畑地区、淡路市東桃川地区がPRを行いました。ふるさとむらからだけでなく、実際にその地区で活動されているボランティアさんからの活動内容の紹介や、農作業や集落行事の楽しさなどについて報告がありました。個別相談会では、具体的な質問が活発に出され、多くの地区登録がありました。

# 農村ボランティア現地説明会

平成22年度から新たに「ふるさとむら」の仲間入りをする篠山市の「マイファーム西紀南」と養父市の「ふるさとむら堀畑」、そして丹波市葛野地区と養父市高柳地区を訪ねました。

## マイファーム西紀南

2月28日(日)、神戸市役所前を出発したバスは、1時間足らずで篠山市の特産品の直売所「味土里館」へ到着しました。西紀南地区で採れる農産物も、ここに並んでいます。開店と同時に店内へ入ると、新鮮な野菜が豊富に揃えられていました。その次に訪れたのが「黒豆の館」。やはり丹波の特産品の中でも全国ブランドである黒豆を使った様々な商品や、黒豆の栽培や薬効に関するパネル展示や資料もありました。

西紀南地区内に入り、実際に地域の雰囲気を感じるためにバスを降りました。心配していた雨も何とか降らずに、マイファーム西紀南の森本さんに案内いただき、春には美しい桜並木や、初夏にはホタルが舞う川、丹波竜の化石が見つかった場所の近くをゆっくり歩き、この地区の良さを感じ取ることができました。



次に訪れた丹波市葛野地区では、農村ボランティアの活動拠点としても利用する「かどのの郷」で「元気村かどの」の皆さんから地区や活動についての説明を受けました。中でも農薬を使用しない「ゴマ」の栽培については、特に興味を持たれた方が多いようでした。案内をして頂きながら地区内をバスで回り、途中立ち寄った「達身寺」では、写真撮影をされる方、説明文を熱心に読まれる方で、あっという間に時間が過ぎました。皆さん、またゆっくりと訪れたいと思われたようでした。



## ふるさとむら堀畑



前日から雨が降り、但馬地方はかなり冷え込むとの予報の中、3月7日(日)に養父市堀畑地区を訪れました。幸い何とか雨も降らず、地区を見渡せる高台にある神社を案内頂いたあと、農村ボランティアの活動拠点となる公園に向かいました。公園とはいうものの、まだ造成工事中で、何本かの木と古墳がポツンとあるだけの状態。ふるさとむら堀畑の下村さんから、「皆さんと一緒にこの公園を作り上げ、イベントなどの企画も行っていきたい。」と説明頂きました。その後歩いて公民館へ。途中、県指定の天然記念物「ハコネウツギ」を観察し、公民館では地区の詳しい説明や、公園の整備にかかる壮大な「オプション計画」もお話頂き、興味深く聞き入っておられた方々が、地区登録をされました。



堀畑を出発し、温泉を兼ね備えた道の駅「但馬楽座」を経由し、高柳下地区を訪れました。あいにく雨が降り出しましたが、美しい棚田を案内頂き、その作業の大変さも伺いました。その後、農村ボランティアが宿泊や休憩に活用されている交流館で、ふるさとむらの方から棚田で作業や年間活動計画についての説明を受けました。この日は、ここで活動しているボランティアさんが3名お集まりくださり、皆が参加しやすいように規約を作り、大変な農作業の他に楽しいイベントを計画しておられるなど、活動を発表いただいたほか、棚田の美味しいお米のPRもされていました。

編集・発行 (社)兵庫みどり公社 兵庫楽農生活センター 楽農交流課 農村ボランティア事務局

所在地 : 〒651-2304 神戸市西区神出町小束野 30-17

電話 : 078-965-2651 FAX : 078-965-2653

e-mail : koryu@forest-hyogo.jp HP : [http://hyogo-rakunou.com/07\\_nouson\\_bora.html](http://hyogo-rakunou.com/07_nouson_bora.html)